



2025年5月12日

各位

会社名 株式会社クレハ
代表者名 代表取締役社長 小林 豊
コード番号 4023 (東証プライム)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
小川 隆之
(TEL 03-3249-4651)

配当政策の変更 (DOE 導入) に関するお知らせ

当社は、2025年5月12日開催の取締役会において、下記のとおり配当政策を変更することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当政策変更の考え方

当社は、『クレハグループ中長期経営計画 ローリングプラン 2025』において、資本収益性を一層意識したバランスシート経営を進めるために、これまで既存事業の徹底的な利益拡大策、全社コスト削減策による収益性の改善及び株主還元強化等による資本効率性の改善を推し進めてきました。一方、欧州における電気自動車市場の低迷等により、2024年度実績 ROE (自己資本利益率) は 3.6% に低迷し、PBR (株価純資産倍率) も 1 倍を下回る状況が継続しています。かかる状況の改善に向け、全ての既存事業の利益拡大に向けた取り組みを一層強化するとともに、安定した配当の実施が株主価値向上の観点から重要であるとの認識の下、配当基準をこれまでの配当性向および総還元性向から、自己資本金額に連動した配当である DOE (連結株主資本配当率) に変更することといたしました。

DOE を基準とした配当の実施に当たり、政策保有株式等の資産売却による資金も活用し、財務上、過度な負担とならない水準とすべく、2025 年度および 2026 年度の 2 年間において、DOE 5% を目安とした配当を実施することといたしました。

2. 変更内容 (下線部分が変更部分)

<変更前>

- 利益の配分については、将来の事業展開に向けた積極投資に資する内部留保を充実させつつ、安定的な配当を基本方針とし、目標配当性向を 30% 以上とする。但し、2025 年度までの年間配当の下限額は、1 株当たり 86.7 円とする。
- 加えて、自己株式の取得による総還元性向 50% 以上を目標とし、2025 年度末までの 3 年間累計で 400 億円程度の自己株式の取得を行い、株価の改善に向けた株主の期待に応える。

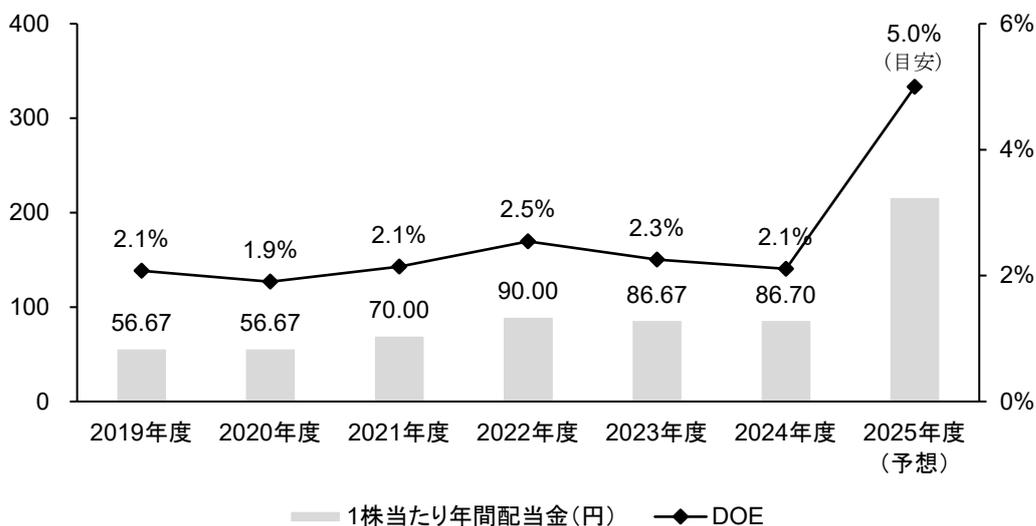
<変更後>

- 利益の配分については、将来の事業展開に向けた積極投資に資する内部留保を充実させつつ安定的な配当を基本方針とし、2025年度から配当基準として、DOE（連結株主資本配当率）を導入する。
- 2025年度および2026年度において、DOE 5%を目安とした配当を行う。
- 加えて、2025年度末までの3年間累計で400億円程度の自己株式の取得を行い、株価の改善に向けた株主の期待に応える。

3. 適用の時期

2026年3月期より適用いたします。

(参考) 1株当たり年間配当金及びDOE推移



なお、2024年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、2024年3月期以前は株式分割を考慮した数値を記載しています。

以上